

# 先行研究の日本語タイトル [1]

福島大理工 おなまえ

## 概要

本論文では…（背景・手法・結果を 200 字程度でまとめる）

## 1 研究背景

**分野の状況** 研究分野の現状を，歴史的経緯などを含め簡潔に文章でまとめる．

**分野の課題**（紹介する研究に対する）先行研究を整理し，これまで何が課題とされてきたのかを文章でまとめる．

**研究の目的** 本研究の目的は何かを文章でまとめる．

**新規性** これまでの研究と何が違うのかを文章でまとめる．

**期待される効果** この研究によってもたらされる効果に関して文章でまとめる（研究の意義）

図の例



図 1 <https://www.nta.co.jp/media/tripa/articles/gHvD8> より転載

## 2 理論（手法）の概要

1. 作用： $S = \frac{1}{2} \int d^4x \sqrt{-g} (R + 2\Lambda + \mathcal{L}_m)$
2. 各項がもたらす物理的な影響など
3. 解析手法など
4. 数値解析の対象となる式，初期条件など

### 3 主な結果と考察

- 数値解析結果の物理的意味に関する結果と考察に関してまとめる

### 4 結論と展望

**結論** 本研究によって示されたことをまとめる.

**展望** 今後の研究に関して, どのようなことを考えているかをまとめる.

### 5 メモ

**自身の研究とのつながり** 研究の背景や目的を考える上で, どのような点が参考になったかをまとめる.

**わからなかったこと** 論文を読み進めるうえで, わからなかったことをまとめる.

**専門用語** 論文に出てきた日本語訳の難しいと感じた専門用語をまとめる.

### 参考文献

- [1] Özenç Güngör and Glenn D. Starkman, “A classical, non-singular, bouncing universe”, *JCAP* **2021**: 003 (2021).